

〈リラゲルチド（遺伝子組換え）〉

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 60代	2型糖尿病 (糖尿病網膜症, 糖尿病腎症, 糖尿病神経障害, 高血圧, 乾癬, 白癬, 便秘)	0.3-0.9mg 16日間	腸閉塞（麻痺性イレウス） 血糖コントロール目的で入院。外来で実施していた強化インスリン療法を継続。過去に開腹手術歴なし。	
				投与開始日	インスリンを併用しながら本剤 0.3mg より開始。 1週間ごとに 0.3mg ずつ増量。
				投与14日目	本剤0.9mgに増量。 夕食前に嘔吐した。 便秘傾向ではあったが、投与開始以降も排便は毎日認めていた。
				投与16日目 (投与中止日)	昼食後に嘔吐した。CRP値7.46mg/dLに上昇。 腹部単純X線検査でニボー像を認めイレウスと診断。 同日夕より、絶食・輸液開始。本剤投与中止。
				中止 2 日後	腹部造影CT施行。明らかな閉塞機転は認められなかった。
				中止 6 日後	食事再開。 その後も腹部症状の悪化は認めず。
				中止27日後	退院。
併用薬：インスリンアスパルト（遺伝子組換え），インスリングラルギン（遺伝子組換え），カンデサルタンシレキセチル，アムロジピンベシル酸塩，エピナスチン塩酸塩，テルビナフィン塩酸塩，酸化マグネシウム					